

発行責任者  
 都立向丘高校同窓会  
 会長 小川力洋  
 編集 広報委員 会  
 事務局  
 東京都文京区向丘1-11-18  
 向丘高校内  
 TEL 3811-2022  
 FAX 3812-4055

校舎完成と第二弾総合  
 名簿協力への御礼



会長  
 小川 力洋

平成8年12月中旬、早期天皇陛下誕生祝会場で起きたペルー大使館人質事件は今日でも未解決で72名を残して予備的対話を行ってはいないものの条件整備が難行している。

国内においては1月7日にロシアンアタンカーナホトカ丸の油流出事故問題で、新年を迎えた日本海沿岸各県の漁業関係者に大打撃を与えた。全国から大勢重油取りボランティアが懸命な努力をし、大海と戦った。

母校では10年1月末校舎完成をめざし、順調な工事が進められている。写真に見られるとおり、本郷通り側に6階建としてそびえている。3月の段階で4階までコンクリート打込みができています。

生涯学習教育に向けて将来も、地域と学校が相互利用を可能にするという。

1990年(平成2年)に全く備っていないかった総合名簿を最大限のものと目標にまとめて見ようと役員会で決定し選定業者(㈱関西廣済堂)に依頼した。新住所の不明者は旧住所のままとし、調査の結果、有返信者、又は友人からの連絡等があった方のみを判明者として発行した。判明率は40%程度だった。そこで母校50周年を記念し、前回以来会報を送る度毎に、調査連絡のご協力を願ひ、一層充実したものとして発行する運びとなった。御礼申し上げます。発行に当っては本会の負担金は皆無で発行を願うため会員各位の名簿購入(2、500部以上を前提)と広告協賛に頼るのが内情なので、大勢のご賛意を願いたい。

(※但し名簿掲載拒否者についてははぶいております。)

総会開催について

早近、本会の総会懇親会に対する関心度が低調です。任されているので自負すべきなのか、マンネリだから無関心なのか……。役員側としては、本年度卒業生総数15、300名、推定物故者1割弱としても14、000名が存在している。中でも判明者は70%としても約10、000名が連絡できている。

例年母校体育館で在校生の協力を願って開催していましたが、本年は場所を別記のとおり行うとし、来る50周年を迎えるべく平成10年4月29日は新校舎ご高覧を兼ねて、大集會室にて開催を予定している。



インターネット研究会



1996年度 総会参加者

特集  
母校NOW

輝やく！向丘高校

校長 北村 透

卒業生の皆さんも新聞紙上ご覧になったことと思いますが、今年の入試の応募状況は驚く程の高い競争率となりました。推薦入試では、男子<sup>5.12</sup>倍、女子<sup>7.24</sup>倍、平均<sup>6.01</sup>倍は普通科一位でした。一般入試でも男子<sup>2.01</sup>倍、女子<sup>2.13</sup>倍と男女とも二倍を越える競争率という人気を得ることができました。

これも、教職員の取り組みへの努力をはじめ、来年度完成の新校舎南北線の開通により一層交通便利となった追風のためであるとも思っております。

一、伝統ある自由な校風の開花  
向丘高校も今年で創立50周年を迎えます。現在、プレハブ式校舎であっても、明るくのびのびとして、なごやかな雰囲気は、見学に来た中学生に好感を与えたようです。

これも指導する先生方が生徒の面倒をよく見て、一人一人を尊重した、自由な校風が開花したといえます。

二、世界につながるインターネット

コンピュータ授業は本校の特色であり16年の実績があります。こ

の上に立って、平成7年度より、IC事業(個性化・特色化)が実施されており、マルチメディア授業を目指して推進しております。今、他校とのネットワーク化の話もあり、本格的な情報化の先進校を走っております。

また、パソコン教室として公開講座を今年度より実施し、地域にも貢献しております。

三、新校舎にマッチする標準服  
新校舎完成に合わせて標準服が決定いたしました。一年がかりで検討し、関東一円では見られない色とデザインに男女とも変えま

た。なかなか見映えのするものなので楽しみにして下さい。

四、向丘にそそり建つ、6階建  
いよいよ、一年後の平成10年1月に完成することになり、引越の予定です。

平成10年秋には、創立50周年と新校舎落成記念式典が行われる予定です。卒業生の皆様、ぜひお出かけ下さい。

現在、学校は、文京の地に一層輝く、新生向丘高校を目指して頑張っております。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご発展をお祈り申し上げます。

「新校舎建築報告」

新校舎改築委員長  
鳥居 雄司

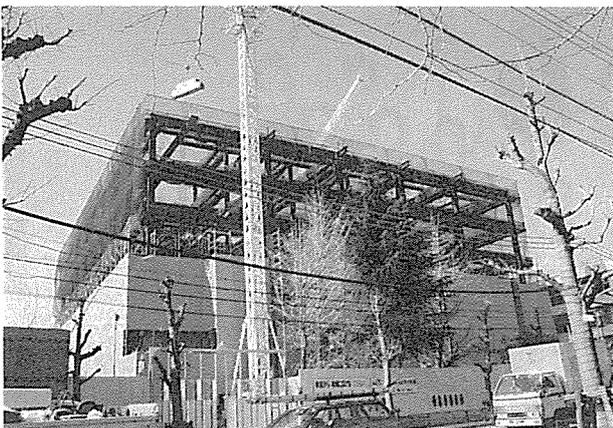
新校舎の建築工事は、ほぼ当初の計画通りに進行しています。平成10年(1998年)1月に完成し、検査、引越し後に引越します。

発掘調査では貴重な遺物が見つかり(全国紙にも取り上げられ、詳細はインターネットの向丘高校ホームページhttp://www.gokaish.bunkyo.tokyo.jp)ました。

現在はビニールシートで囲まれて、工事の様子を見ることはできませんが、既に3階から4階のコンクリートを打ち込んでいます。新校舎の特徴は「ゆとり」です。

校舎は上から見るとカタカナの口の字の形をしています。ゆとりの空間として光庭(ひかりにわ)が中に設けられています。また、各部屋をつなぐ廊下の各部にはゆとりを持たせた部分を配置しています。

生徒一人一人の理解度に合わせて少人数クラスの授業を実施するために、個別指導や習熟度学習用の部屋を数多く設けています。そ



して、ゆとりをもって面談がで  
る部屋もたくさんあります。

本校は交通の便が良い反面、校  
地の広さに恵まれませんでした  
が、6階建てにして土地の有効利  
用をはかり、ゆとりを増していま  
す。建物の高層化に伴ってエレベ  
ーターも設置しています。従来3号  
館と呼ばれていた北館も改修し、  
エレベーターをつけることになりま  
した。北館と新築中の南館は渡り  
廊下で一体化しています。

6階には多目的ホールができま  
す。これは新校舎で実現した新た  
な部屋です。多様な行事に活用す  
ることを期待しています。さらに  
インターネットをはじめとするマ  
ルチメディア学習環境が整ったM  
M(マルチメディア)教室、L L  
(外国語学習)教室、A V(視聴  
覚)教室があり、それらは職員  
室、各教科準備室と構内オンライ  
ンで結ばれます。

いよいよ「ゆとり」のある新校  
舎がでる平成9年(1998  
年)度を迎えることになりました。

S31年卒 副会長 三田 昌男  
よく本郷通りをとおるたびに母  
校の新校舎の建築状態を見ており  
ます。今は6階建の建物の本体と  
なる鉄骨がもち上がり、段々と建  
物らしくなって来ました。今年の

末までには外壁や窓も入り立派な  
新校舎が完成すると思います。

来年は向丘高校の50周年記念で  
す。同窓会の皆様に学校の内部を  
見学出来る機会を作りたいと思っ  
ております。

新校舎が完成して、伝統ある母  
校、向丘高校のよりよい校風がよ  
り一層豊かになる様にと、心から  
願っております。

これからも同窓会発展のため  
に、皆様方の御指導、御協力をお  
願い致します。

「向丘の前途を祝して」

元校長 原 隆男

去る二月九日(金)朝刊の各紙  
に、「平成九年度都立高入学選抜  
応募状況」なる表題の下に、都立  
の各高校の志願者の模様が、詳細  
な数字と共に発表されました。毎  
年この頃になりますと、つい気に  
なりまして、その少し前の中間発  
表あたりから注意して見て居るの  
ですが、今年は何と、我が向丘の  
倍率が、男女殆ど差異のない、平  
均二・四四倍と云う高い水準で、  
四学区は言うまでもなく、他の学  
区を見ましても、二学区にはほぼ似  
た様な倍率の学校が、二校ほどあ  
るだけで、島嶼を含め普通科十四  
学区中、極めて高いものであるこ

とを知り、如何にも嬉しく、誉り  
に思いました。倍率と云うもの、  
単に数字の上だけにはとどまらな  
いことは、一応承知はして居りま  
すが、何と云いましても数字の持  
つ重みは、重要と思えます。現校  
長の北村先生は去る平成六年の四  
月、前校長池永先生の後を継がれ  
本校に着任されたのですが、恰  
も、その年の九月の一、二号館と  
りこわしから始まりました。

本校の全面改築に直面され、翌  
年三月からの江戸時代遺蹟の発掘  
と云う予想もしない事態をも乗り  
越え、ようやく、その年平成七年  
の九月の着工から、八年度、九年  
度と工事を勧められ、いよいよ来  
年一月には竣工と云う所まで進ん  
で来られたのでした。この間、学  
区内のグループ制から各校の単独  
選抜と云う制度との変更が重な  
り、一時は、志願者が減少すると  
云う苦難をも嘗められました。が、  
この度は、見事な成果を実現され  
たのでした。これは先生方は元よ  
り、事務職員、PTA、同窓会、  
一丸となつての、ご努力の結果と  
思います。また秋の文化祭と云え  
ば、自ら和服姿で津軽三味線を弾  
き、我が国古来の民謡を唄うと云  
う独特の風貌と魅力を湛えられた  
北村先生ご自身の大きな存在感を  
忘れることは出来ません。全面改

築と云う状況の下、仮校舎の中  
で、生徒の文化祭に合わせられ、  
ひたすら、明るく、楽しく、全体  
を率いて来られました先生の心意  
気を、こよなく尊いものに思いま  
す。また現在の二年生は、平成七  
年四月の入学以来、十年の一月ま  
で、三年間を、まるまる仮校舎で  
過ごすことになる訳で、この学年  
を先頭とする、改築中の全生徒の  
協力と努力も、同じく尊いもので  
す。

遺蹟発掘の期間を除き、正味二  
年四ヶ月に及ぶ工事も、来年一月  
には竣工、全面改装の三号館と共  
に、いよいよ高層六階の新装の校  
舎が向丘台上に聳える訳です。来  
年秋には創立五十周年の記念式典  
の由、新たに駒込からの地下鉄も  
開通、一層のご発展を心からお祈  
り申し上げます。

同期会だより

「久しぶりの新山会」

S31年卒 塚本(佐藤)トメ子  
平成八年十一月十六日(土) 比較的親  
しい仲間呼びかけ、当時担任をして頂いた  
新山忠先生を囲んでの楽しいひとときを過し  
ました。

私達も六十才。「いつの間にかこんな年にな  
ったのだろう。」仕事や会議で欠席の方、  
病気で療養中の方、少し前にご主人を亡くさ

れた方。参加者は十七名でした。長年会社勤めの人達も定年とのこと。「そうゆう年令になったのだなあ」と感慨無量。

一次会は飲んで食べて、話をして、二次会は幹事さんの案内でスナックでのカラオケ。どンドン出て唄うのは女性。今も昔も女性には強いのです。

会はずく昔の学生時代に戻り話したり笑ったり、時のたつのを忘れてしまいました。

これからは元気で楽しく暮らし「これからは毎年会うことにしようよ。」と再会を約束して解散しました。

卒業後四十年

S32年卒 春川(勢) 園子  
私どものクラスは卒業後丁度今年で四十年になります。クラス会を開くようになって、間は少し抜けたと思いますが、長いことずつと二年に一度は欠かさず開いています。

これも担任の田中先生が出席して下さいのこと、長いこと幹事役を受けて下さっている方が名簿の管理などしっかりしてくれるお蔭だと思ひます。

今回ははじめて幹事の一人として私も加えさせていただき、昨年六月に開きました。卒業以来四十年にもなると、話題はまず健康のこと、子供の事、そして孫のこと等と尽きませんが、やはり一番の関心事は健康のこととなるようです。お酒の量や食事のことも気になります。また子供達もそれぞれ親を離れてこれからは私達自身のことも考える時です。私事で大変恐縮ですが、私は最近俳句をはじめました。こんな年令になって新しいことを始めることは勇気もいりますが、よかったです。二つあります。

一つは俳句を作ること。物を見る眼が違って来たことです。今迄は何とも思わずに通

り過ぎてしまったことをしっかり見るようになりしました。

もう一つは俳句を通してよい友達に出合えたことです。この出会いを大切にこれからも俳句を続けたいと思っています。私の最近の拙ない句の中から、

昼の園風やはらかに春立てり  
幾重にも願ひの絵馬や梅の宮  
梅明りして崖の水豊かなり

クラス会は二年に一度ですので、次回は還暦の年になります。健康で大勢の方に参加してもらい、旧交をあたため合えるよいクラス会が出来ればと幹事の間で話し合っているところですよ。

還暦を祝う同期会開催準備中

S30年卒 三谷 一郎  
平成七年三月に卒業四十周年を記念して同期会を開催し、担任の先生方を含めて約百



昭和32年卒3年D組 クラス会 平成8.6.9 (日)

人の参加を得て盛り上がった会が出来ました。

その折りに次は六十才の還暦に全員が到達したときに、お互いに祝う会を開きたいと多くの人から希望されました。人生の大きな節目である六十才に懐かしい友が集い、昔を懐かしみ、お互いの無事を確認する喜びは、想像しただけで胸の高まりを覚えます。

青春真っ盛りの十八才も気がつけばミドルエイジと自覚する年齢となり生活態度、環境健康状態と様々な変化に見舞われている現状でしょう。男性は仕事も大きな山場を越え、女性は子育てを完了してお互いにホッと見てゆとりが生まれ自分自身と周囲を改めて見直す時期なのでしょう。同期会の企画はこんな状況下を推察しての開催です。

平成九年三月二十三日日曜日に清澄庭園内の大正記念館で庭の全景を背景にして開きます。親しい友と庭を散策し語り、記念の写真を書いてから祝の宴を準備しております。還暦祝会の様子は次号にてお知らせします。やがて還暦が到来する後輩の方々にも是非還暦会の開催をお勧めします。会場も椅子席で百五十人と広く舞台とマイク設備も完備しています。東京都の管理で利用料も格安ですので計画を立てられては如何ですか。

五十才で再会しようよ!

S41年卒 尾道(大橋) 郁代  
三十年ぶりに同期会をしてから二年が経ちました。今年もまた同期会を開催する準備をしています。今回は幹事も新メンバーを加えて過去に連絡とれなかった方もぜひ参加していただきたいと期待しています。

まだ何人位集るか全然予想もつかないのですが一〇〇人位集える会場を予約してありますのでぜひお誘い合わせの上ご出席していただくことを幹事一同願っております。懐か

しい再会をしてあの学生時代の気持ちに一時戻るのも日常生活のオアシスのような空間です。皆さんにぜひ体感していただきたい気持ちです。

記

昭和四十一年卒業十八期同期会

日時 七月十二日(土)

PM二時半~五時

会場 ホテルラングウッド

JR日暮里駅南口下車

会費 八、〇〇〇円

みんなの広場

「ボランティア」

S29年卒 小野寺榮光  
「好きよ、あなた、いまも、いまでも。」と、ある歌手は唄った。

40年近い向丘通いから、同じ都立の板橋に移ったのは平成7年の4月です。

バレーボールのコーチと言っても他高の関係者ならいざ知らず、向丘では一人のOBでしかなく、ふらりと遊びに来たのが、たまたま40年以上も続いた訳で、だからと言ってその為にどうと言うこともありませんでした。

宮畑先生、石橋先生、橋本先生、田中先生、葉多野先生、会津先生、帯津先生、松井先生と替って行った先生方こそ大変だったろうと思ひます。

担任の春山先生にはかなり強く怒られた事があります。早稲田を断って、明治に行くことと決めた時でしたから昭和29年の2月の事でした。

「明治に払い込んだ後に早稲田の合格を

知らされました。また同じくらいの金を出す  
余裕などありません。」

「私が金を立て替えてやってもいいから、  
早稲田に行った方がいい。必ず後悔しま  
すよ。」

と、何度も言っていました。

私が明治大学を選んだのは、明治大学の  
バレーボールが好きで、明治大学でバレーボ  
ールをしたい、と言うのが主な理由だったの  
です。

当時早、慶、明の三大学はバレーボール  
界の中心で、企業でも、この大学出身者で固  
められていました。

一番バランス良くまとめられ強かったの  
は慶心だったかもしれせん。

早稲田も強力なアタッカー陣がいて、中  
で一番地味なのは明治でした。

拾って、拾って、拾いまくる。

相手が打ち疲れるまで拾って打たせろ、と言  
うのが当時の明大バレーボールのスタイルの  
様に私は感じ、何故かそれが魅力でした。

今と比べ、入試の難易度は低く、東大の  
一次には12人もはいったほどでしたので、明  
治大学に行くと言うのはややレベルは低くみ  
られていたかも知れせん。自分でも明治は  
なんとかなるかも知れせんが、早稲田は自信  
がありませんでした。

ことに受験直前の1月17日に腹痛をおこし、  
保健室で寝ていた私の腹に、何の包みもせず  
に熱い湯タンポをドカン！と乗せて

「冷えっ腹でしよう。」  
と言いつつ女性教師は今でも忘れません。  
盲腸は完全に悪化し、その夜中、近くの産婦  
人科医で手術をし、退院出来たのは4月の中  
ばでしたので、当然受験は腹に7枚のガーゼ  
をつめたままで、しかも看護婦付きでした。

明治大学で初めての授業を受けた時、と  
び抜けてイカツイ顔の新入生がいました。  
深田公之（ふかだきみゆき）と言ってい

ました。

卒業して彼は、大学時代に友人たちが擲  
楯（なげやり）と言った「悪友」をそのまま「阿久  
悠」とペンネームにかえて「青春時代」をヒ  
ットさせ「津軽海峡冬景色」で一流を確立さ  
せました。

向丘のコーチとなって二つの事が今も鮮  
やかです。  
その一つは女子の関東大会東京代表であ  
り、もう一つは、三橋（現川端小石川高校  
長）が関東六大学一部リーグ戦に出場出来た  
時でした。

彼が1年の時に私は4年だったので、実  
際リーグ戦場で会ったのは春、秋の二度だっ  
たのですが、彼は会う度にプレーの上達が誰  
の目にも判る程に勢いのある学生生活だっ  
たようで、春、夏、秋、冬の合宿をはじめ、  
土、日の練習ゲームの話など、生き生きとし  
た話に、後輩の向丘男、女バレーボール部員  
はその都度エキサイトしたのも事実です。

女子も実業団ベスト4に入るほどのチ  
ームで活躍したプレーヤーが数年続き、大学  
の部でプレーした人も何人かいたほどです。  
4才から痛めていた足がダメになりかけ  
たのはこの頃です。

「カリエス（結核性骨髄炎）」で股間接が  
悪化し、右足を切除する手術の為清瀬の「国  
立東京病院」に入院したのは38年の12月でし  
た。

「普通の人は骨が腐るのに、貴方の場  
合、骨が溶けて行ってるんです。」  
ギプスは首からスッポリ全身に渡り、同  
じ姿勢のままで天井を見続けて1800日で  
す。

実は35kgと痩せて、一時はあぶない時も  
あったのです。  
1200人いた患者で、退院するのは年  
に1、2名で、ほとんどの人は外科的治療  
で1年足らずで退院すると言うのは少なく、

半ば以上は10年か、15年以上も入院が続いて  
いた。

「びっくりしたね！」

と主治医も驚くほど好転し、1ヶ月後術とな  
り、6ヶ月後退院となり、そして東大に行き  
公開講座に参加し、やがて仏文の授業を受け  
る様になり、6年もかかって（普通の人の3  
倍もかかって）ルソーの「エミール」を読め  
るようになりました。

少しずつ、リハビリも良くなり、再び  
部活の手伝いも出来るようになりました。

一つだけ気になるのは、何故か以前のよ  
うな猛け猛けしさが失せ、ゲーム出来る事だ  
けが幸せだと思え、勝敗を気にしなくなった  
事でした。  
そして、練習出来る事が幸せで、休んだ  
子の心配が強くなる事でした。

帯津先生とは一番長く練習出来ました。  
平成7年4月、佐藤正和先生にお声をか  
けていただき、転勤先の「都立板橋高校」に  
おじやまするようになりました。

向丘の時はいつも「先輩面」が出来たの  
に、板橋では「見たこともない身障のジジ  
イ」でしかありません。  
全力でぶつかるとしか生きる道がありません。

若い時なら、  
「またあしたね、さよなら！」  
が別れのあいさつとして何の抵抗もなく言え  
た。今は何故か「さよなら」が言い辛い。  
思い、出はいつも美しく、美しいものは常  
に儂くて、儂ないものは何故か悲しい。

乗りがえ駅の人混みを  
「会いたくて、恋しくて、泣きたくなる  
夜、そばにいて少しでも話を聞いて。追いか  
けて、追いかけて……」  
と演歌が急かせる。

故あって向丘からは離れましたが、心は  
いつも白山の辺りを彷徨っています。

いつか再び向丘にもどり、全国制覇をし  
たいと夢は持っています。

「好きよ、ガオカ、いまも、いまでも、  
追いかけて、追いかけて、追いかけて向  
丘。」

「思うがまゝに」

S32年卒 櫻井 弘清

税金の二重取りではガソリンの消費税  
いつも利用するガソリンスタンドで渡さ  
れる領収書で、軽油の場合は軽油引取税が書  
いてあり、消費税は軽油代だけにかけられて  
いる。しかし、ガソリンにはそのような記載  
がなく、すべての金額（揮発油税まで）に対  
して消費税がかかっている。このような「二  
重課税」にはどうしても納得いかない。毎回  
何気なく支払っていた燃料代に、こんな不公  
平な事実が隠れていたなんて。ましてや消費  
税が5%になったらと思うと腹がたつてしよ  
うがない皆様はどの様にお考えですか……。

車好きの小生だけが思うことか。  
高速料金の値上げについてもおかしく思  
う。良く利用する身としては、消去されるか  
ら当初は何年かたてはタタになるとのふれ込  
みで高速道路を作ったはずなのに、アメリカ  
へ行けば良く分かる。日本よりずっと広い巾  
のハイウェイが無料で走れる。まだ〳〵不  
思議なことがたくさんあるが身近に感じたこと  
を今回は記して見た。

母校の新校舎落成を楽しみにしています。会  
員の皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

シャル・ウィ・ダンス？

S34年卒 石山彼早子

シャル・ウィ・ダンスという映画が今年

シャル・ウィ・ダンスという映画が今年

シャル・ウィ・ダンスという映画が今年

の六月に封切され大変話題を呼びました。熟年層にダンスをする人達が増えチョットしたブームになっています。

私も健康維持にと八年前にダンスを始めました。確かに適度な運動でほどのところが良いようです。それに年令を気にせず派手な衣裳を着られ何んとなく若やいだ気分になれますし、お互いに少し異性を意識しながら相手に不快感を感じさせないよう気を配り精神的にも適度な緊張を持つことが頭の体操であるし、対人関係を円滑にし、そしてその中で楽しんでいきます。

ダンスをする目的もいろいろで高価な衣裳を作り、個人レッスンに高い謝礼を支払い多勢の人の前で華麗に踊る人達、又私のようにサークルで仲間作りと交流を楽しみながらそこそこ踊れて、年に二度か三度の手作りのものを持ちよつてするパーティーをしている人達と様々です。何年つゞけられるかはわかりませんが無理のないようにと心掛けています。

日本の暮らし

S47年卒 佐々木(遠野) 郁子  
しばらく海外で暮らして、昨年四月に帰国した。帰国して思うことは、人々の歩き方の速いこと。

皆、脇目もふらずに黙々と速足で進む。乗り換え駅の連絡通路など、走っている人さえいる。どうしてこんなに誰もが先を急ぐのだろう。急いだ先に、どんな良いことが待っているのだろうか。かつては自分もその中に居た筈なのに、今はとても思い出せない。

エレベーターに乗り込む時、最後に乗った私が、「閉」のボタンを押し忘れると、私をにらみつけながら隣りの人がボタンを押す。エレベーターの扉が閉じるのを待つ時間さえ惜しいのだ。

まだ、こんな日本のリズムに乗りきれない私は、時々、自分が取り残されていくように感じられる。この国では、走っていないとダメなのだ。人を押しのけて電車に乗り込み、幸い席につけた人はたいへい、目を閉じて瞬時に熟睡し始める。このくらい時間を有効に使わなくてはダメなのだ。何とも、日本で生きていくのは容易ではない。ここは私の祖国なのだけれど。

ドイツ留学の

あの日に帰りたい

S55年卒 小沢(小林) 玉枝  
春は芽吹き、開花など大都会でも変化がよく分かる。人間にとっても進む道を選ばなければならぬ時期だろう。1980年3月、卒業を目の前に進路を決めかねていた私に、伯父が留学を薦めた。

留学先は当時の西ドイツの南西地方、シユヴァルトヴァルト(黒い森)の近く。カトリック協会が経営する学校である。ドイツ語は半年ほど勉強したとは言うものの入学当初、授業を理解するのは至難の業である。が、1つだけ楽しい時間があった。合唱である。

初めての練習日、いっしょに歌う私を見てみんなが驚いた。それまでは貝のように口を閉ざしていたのに楽譜を見て声を出したのだから驚くのも無理はない。それ以上に日本人がこういう歌を歌うのが驚きだったのだろう。なにしろ日本人に接するのは初めて、日本の風習も文化も伝わっていないから私は忽ち質問責めにあつてしまった。日本にも合唱はあるのか、日本人はどんな歌を歌うのか、先生まで他の楽譜を持ってきては、これも歌えるか、など、私はすっかりスターになつてしまった。

彼らにとつて合唱は子供のころから出来て当たり前、音楽は自国の文化と信じている

ので異国からきた18歳の少女が楽譜を読んだことが余程珍しかっただろう。

私にしても音楽の知識を持っていたこととでこんなに力強く励まされたことは忘れられない。

その後は、大事なミサでいちばん前で歌ったり、校長のお客のためにピアノを弾いたり、スターというか見せ物のようになってしまったけれど……

2年間の留学生活は私の人生にとつて図りきれない栄養になっている。他の町の教会で歌ったり、ミュンヘンでのローマ法王のミサに参列したり、国境を越えてフランスの劇場でオペラを聴いたり、合唱を通じ、沢山の貴重な体験や多くの友人を得ることが出来

た。

音楽留学をしたわけではないけれど、今いちばん役に立っていたり懐かしく思うのはあの頃の音楽体験である。出来ることならあの日に帰りたい、そしてもっといろいろなことを吸収したい、と思う近頃である。

S41年卒 熊田 忠雄

毎度懐かしき満載の会報をお送りいただきありがとうございます。

隅から隅まで読んでおります。会長はじめ幹事の皆様のご尽力に心より御礼を申し上げます。小生元気で過ごしております。時折母校の前を散歩がてら自転車を通つていきます。

役員紹介



- ⑦ 田中正明 幹事
- ⑥ 石山(佐伯) 早被子 会計監査
- ⑭ 中西宏行 幹事
- ⑧ 宮久保渡 幹事
- ⑤ 山本(福永) 越子 書記
- ⑨ 三田昌男 副会長
- ④ 小川力洋 会長
- ⑬ 河合弘市 幹事
- ⑩ 寺村光司 会計監査
- ③ 尾道(大橋) 郁代 会計
- ⑫ 塩原道夫 幹事
- ② 佐々木(遠野) 郁子 幹事
- ⑪ 桜井弘清 幹事
- ① 荒川雅司 会計

やよい会 (向丘高校同窓会)

式次第

日時 平成8年4月29日(月)
PM11:00~14:00
会場 母校 体育館

◆総会

- 1 開会のことば 司会・副会長(杉浦重治) 副会長(三田昌男)
2 校歌斉唱
3 会長あいさつ 会長(小川力洋)
4 校長(名誉会長)あいさつ 校長(北村透)
5 議長選出 議長(小川力洋)
6 議事
①事業報告 平成7年度 書記(山本越子)
②決算報告 平成7年度 会計(荒川雅司)
③監査報告 平成7年度 会計監査(石山彼早子)
④事業計画(案) 平成8年度 書記(石井満喜子)
⑤予算案 平成8年度 会計(尾道郁代)
⑥役員改選の件 会長(小川力洋) 会長(小川力洋)
⑦その他 会長(小川力洋)
8 役員紹介(顧問・参与・幹事・役員・事務局) 会長(小川力洋)
9 閉会のことば 幹事(河合弘市)

◆懇親会

司会(千田二仁江)
幹事(中北宏)
会長(小川力洋)
顧問(原隆男)
顧問(平塚寛次郎)

- 1 開会のことば
2 会長あいさつ
3 来賓代表あいさつ
4 乾杯
5 懇談
6 アトラクション 母校吹奏学部 在校生
7 ゲーム大会 カードを1枚¥100にてお買い求め下さい。資金援助に致しました。
8 閉会のことば 幹事(金田寿子)

平成7年度会務報告

①役員会

H7・4・14(金) 総会、懇親会の対応
新幹事顔合わせの会
北区東田端出張所
H7・7・21(金) 総会、懇親会の報告
会費納入の件、他
北区東田端出張所
H7・8・12(木) ホームカミング、向
陵祭への対応の件
北区東田端出張所
H7・12・13(水) 役員各位への原稿依
頼、計画推進の件
北区東田端出張所
H8・3・28(木) 総会、懇親会の対応
新幹事顔合わせ会
北区東田端出張所

②総会 懇親会

平成7年4月29日(土) 客員12名
会員37名 計49名が参加。
マンネリ化での飽き現象なのか、日程上
不都合なのか、参加者が異常と思われるほ
ど少ない様でした。こんな時に今回発行の
「やよい」第6号誌にスケッチ掲載させて
いただいた元校長 平塚先生の「集まってい
ることがなにより」というカエル君の一句
は我々にとって大きな救いでした。事務局
担当の諸先生、在校生諸君には会場設営及
び運営にご協力を頂きましたことを特にご
報告申し上げます。

③研究活動

①平成8年3月25日 広報誌「やよい」
6月号を発行
年末に同誌編集集議を始め、4月29日の総
会日の広報とお申込みが間に合うようにと
進めてきました。気掛かりな校正ミス等あ
るものの、やっと出来上がりました。発送
者(従来住所が確認出来ている会員、客員
等)総数8,700余名へと配布しました。
そんな中でも残念なことに250通近くが転居
先不明で返送されます。
移動の際は是非事務局または会長宛お知らせ
ください。
②ホームカミングについて
校舎改築中につきホームカミングを中止し、

プレハブ校舎での向陵祭参加を兼ねて母校
訪問を致しました。現役の発奮ぶりをもつ
と大勢の会員にPRしたいものです。
以上①、②に関して打ち合わせ会、編集
会議、校正会等8回にわたり会合を持った。
4/26、8/30、9/5、9/7、2/25、2/29、
3/7、3/26 於 北区東田端出張所

④渉外関係

H7・4・11(火) 母校入学式に小川力
洋会長が参列
H7・6・3(土) PTA役員歓迎会
に三田昌男副会長が出席
於 千石会館
H7・9・24(土) 学校訪問、向陵祭に
役員が参観
H8・1・21(日) PTA研修会で沼津
(ベルナルビュウフェ美術館 井上
靖文学会館)見学
新年懇親会に小川会長が参加
於 沼津 千本一
H8・2・28(水) インターネット開設
披露目録に小川会長出席(都立高校
初)於 母校
H8・3・3・8(金) 母校卒業式に小川会
長が出席 祝辞を述べる 卒業生26名

⑤振興助成

H7・4・29(土) 第14期(S37卒)代
表幹事 寺村光司氏が同期会を開催
22名の呼びかけに対し助成
於 駒込ぶらさ
H7・4・29(土) 第18期(S41卒)代
表幹事 谷嶋三三男氏が同期会を開催
87名の呼びかけに対し助成
於 上野 東天紅
H7・8・26(土) 第19期(S42卒)代
表幹事 立花(川井)恵美子氏同期会
を開催
95名の呼びかけに対し助成
於 向丘生涯学習館
H7・9・8(金) 第8期(S31卒)代
表幹事 小川力洋氏が同期会を開催
22名の呼びかけに対し助成
於 王子 浦島

※事業計画

◆広報誌の発行と発送(会員相互の意思
の疎通をはかるため)
平成9年3月末に7号誌を計画。

平成8年3月第48期卒業生を新会員に迎
え、総数14,999名となりました。
会員の各位の投稿が主軸です。原稿をお
待ちいたしております。
ホームカミングは当面向陵祭と併せて開
催いたします。9月22日(日)11:00~14:00

◆同期会 クラス会への助成

会員各位と同窓会本部とのつながりを確
かなものにするために各会開催に対し通
信費助成を例年通り行います(予算内先
着順)。代表幹事は呼びかけ者名簿出席者
名簿及び報告文を40字程度にまとめ、様
子のわかる写真を添えて会長又は学校気
付事務局までお届けください。
◆名簿確立への努力
母校創立50周年又は校舎落成記念(10月
末)にはより充実した名簿の発行ができ
るよう新卒者の入力、異動の申し出での
整理等、継続努力中です。各位のご協力
をお願いします。
◆記念大会への協賛
新校舎落成記念大会、創立50周年記念大
会は一大事業と受け止め、最大限の協力
を行う。(平成10年11月前後想定)

◆年会費の郵便振替の周知徹底を図る。

本会の活動趣旨にご参意いただき更なる
発展を期す。
※予算案の件
※予算案通り
※役員改選の件
原案6号誌、役員表のとおり
※その他

校歌

- 一 弥生文化の希望あ
向丘のあ
あ
あ
二 自由平和の世界あ
心の故郷
あ
あ
あ

平成7年度会計報告及び平成8年度予算案

都立向丘高等学校同窓会  
平成8年3月31日現在

Table with 3 columns: 区分, 7年度決算, 8年度予算. Rows include 収入の部 (Total 2,963,017) and 支出の部 (Total 1,980,000).

積立金(周年事業) 800,000 / 800,000

上記のとおり収支ご報告申し上げます。  
平成8年4月29日

会長 小川 力洋 ㊟  
会計 荒川 雅司 ㊟ 千田二仁江 ㊟  
尾道 郁代 ㊟

監査の結果誤りの無いことを認めます。  
平成8年4月13日

会計監査 石山彼早子 ㊟ 寺村 光司 ㊟

ご多用中、各位のご寄稿・お便り、大変  
ありがとうございました。今後共皆様から  
のご激励、ご協力により、お育て頂きたく  
願います。  
今回は住所が確認されている方(八千六  
百余名)のみを対象に送付致しました。  
又、四大新聞社への掲載も依頼しました。  
友人で未着の方がおりましたら、会長宅宛  
お申し出下さい。即送いたします。

広報委員会

あとがき

- 顧問: 石章二郎, 佐々木益男, 藤黒正明, 金井量二, 原隆男, 平塚寛次郎, 新城昇, 池永武昭
- 歴代校長: 北村透
- 事務長頭: 石井俊夫, 須永孝, 水山清, 渡辺節子, 鳥居雄司, 西淵知, 柿倉昌信, 田嶋昌治, 千葉豊
- 事務局担当教諭: 岡田恵吾, 川原博義, 小川雅子, 古田眞, 宮城晴耕, 堀川恵子(旧姓平松)
- 会長: 小川力洋 (31年卒)
- 副会長: 三田昌男 (31年卒), 杉浦重治 (40年卒)
- 会計: 荒川雅司 (30年卒), 尾道郁代 (41年卒), (旧姓大橋), 千田二仁江 (59年卒), (旧姓樋口)
- 書記: 山本越子 (31年卒), (旧姓福永), 石井満喜子 (42年卒), (旧姓奥山)
- 会計監査: 石山彼早子 (34年卒), (旧姓佐伯), 寺村光司 (37年卒)
- 相談役: 清水克多郎 (48年卒)

第7回ホームカミング  
母校訪問(向陵祭)のお誘い

日時: 平成9年9月21日(日)  
午前10:00~午後3:00  
場所: 校舎内一室にて受付ます。  
会費: 無料、参加賞用意(但し申込予約者に限定)  
目的: すべての同窓生に学校を開放し、現役、OB、諸先生  
との交流の場とし、相互発展に役立てようとするもの  
です。  
申込: 官製ハガキで9月15日必着でお返事下さい。

定期同窓会・懇親会のご案内

(祝日、みどりの日)  
日時: 平成9年4月29日(火)午後1:00~4:00(受付12:00~)  
場所: 北区東田端出張所・会議室 北区東田端1-12-14  
JR田端駅(北口)下車徒歩4分  
目標、田端ふれあい橋を渡り、右の廻り階段下る  
信号を直進、正面(突き当り)裏側  
会費: 2,000円- (当日受付可)  
(但し、8年3月、9年3月卒業生は¥1,000円)  
お料理、飲物、ゲーム大会、大抽選会等  
申込: 同封の郵便振替用紙又はハガキで  
お名前(旧姓)、卒年、住所、電話、勤務先名等明記  
のこと。  
4月20日迄必着で申し込み下さい。

(問い合わせ、連絡先)

事務局(学内) 古田 眞・宮城晴耕・堀川(平松)恵子教諭 TEL.3811-2022、FAX.3812-4055 小川会長宅 TEL.&FAX.3893-9793